

参 考 資 料

参考資料目次

	頁
1. 平成27年度疾病対策課関係予算（案）の概要	資－1
2. 難病対策	
（1）特定疾患医療受給者証所持者数	資－6
（2）「障害者総合支援法」による福祉サービスの対象疾病について	資－7
3. エイズ対策	
（1）新規H I V感染者・エイズ患者報告数、検査・相談件数推移	資－9
（2）平成26年度H I V検査普及週間における検査・相談体制	資－10
（3）平成26年度「世界エイズデー」前後における検査・相談体制	資－11
（4）中核拠点病院選定状況	資－12
（5）H I V診療等に関するマニュアル・ガイドラインについて	資－17
4. ハンセン病対策	
（1）ハンセン病問題の解決の促進に関する法律概要	資－18
（2）ハンセン病療養所入所者数	資－19
（3）ハンセン病問題に関する最近の動向	資－20
（4）退所者給与金及び改葬費について	資－23
（5）非入所者給与金について	資－24
（6）特定配偶者等支援金の概要	資－25
（7）ハンセン病患者・元患者に対する補償等統計資料	資－26

平成27年度予算(案)の概要

平成27年1月

健康局疾病対策課

平成27年度 疾病対策課予算(案)一覧表

※1 ()書きの金額は、他課、他局計上分及び他局対策分を含めた額。
 ※2 < >書きは、医療費を除いた対前年度比。

事 項	平成26年度 予 算 額	平成27年度 予 算 (案)	差 引 増 △ 減 額	主 な 内 容
	千円	千円	千円	千円 千円
I 難病対策	(71,936,793) 61,586,793	(123,063,229) 112,743,229	(51,126,436) 51,156,436	<<対前年度比 171.1%>> <対前年度比 100.2%> <<対前年度比 183.1%>> <対前年度比 106.9%> 1 医療費の自己負担の軽減 60,783,610 → 111,884,638 (主な事業) ・難病医療費等負担金 16,783,610 → 111,073,821 (改) ・特定疾患治療研究事業 44,000,000 → 810,817 2 地域における保健医療福祉の充実・連携 801,706 → 857,885 (主な事業) (改) ・難病特別対策推進事業費(一部推進枠) 687,283 729,230 難病相談・支援センター事業 316,898 → 311,728 (改) 難病医療提供体制整備事業(一部推進枠) 146,621 → 129,525 (改) 難病患者地域支援対策推進事業(一部推進枠) 146,764 → 123,397 神経難病患者在宅医療支援事業 6,979 → 6,727 難病患者認定適正化事業 51,884 → 5,335 難病患者等ホームヘルパー養成研修事業 12,074 → 10,238 (改) 指定難病審査会経費 ※名称変更 4,813 → 13,090 (改) 在宅人工呼吸器等使用患者支援事業 117,727 → 129,190 ※特定疾患治療研究事業から移し替え。 ・難病情報センター事業 34,410 → 20,611 ・難病相談・支援センター間のネットワーク支援事業 7,915 → 7,804 ・難病患者サポート事業 20,505 → 19,863 ・特定疾患調査解析システム開発等経費 3,657 → 2,936 (改) ・難病対策の推進のための患者データ登録整備事業費 30,791 → 61,261 ・特定疾患医療従事者研修事業 2,998 → 2,967 ・特定疾患等対策費 14,147 → 13,213 (10,351,477) → (10,320,706) 3 調査研究の推進 1,477 → 706 (主な事業) ・厚生労働科学研究費 (10,050,000) → (10,050,000) 難治性疾患克服研究事業(一部推進枠) (10,050,000) → (10,050,000) ・難病対策の国際連携 1,477 → 706 ・希少疾病用医薬品等の開発支援(一部推進枠) (300,000) → (270,000) 4 医療施設等の整備 (事 項) → (事 項) (主な事業) ・難病相談・支援センター施設整備費 ・重症難病患者拠点・協力病院設備 (保健衛生施設等施設・設備整備費のメニュー)

事 項	平成 26 年 度 予 算 額	平成 27 年 度 予 算 (案)	差 引 増 △ 減 額	主 な 内 容	
	千円	千円	千円	千円	千円
Ⅱ エイズ 対策	(4,763,473)	(4,680,046)	(△ 83,427)	≪対前年度比 98.2%≫	
	1,097,605	1,127,630	30,025	≪対前年度比 102.7%≫	
				(347,267) →	(329,623)
				1 原因の究明・発生の予防及びまん延の防止	81,432 → 63,771
				(主な事業)	
				・エイズ発生動向調査経費	3,464 → 3,147
				・血液凝固異常症実態調査事業	8,608 → 8,596
				・HIV感染者等保健福祉相談事業	69,360 → 52,028
				・保健所等におけるHIV検査・相談事業	(265,176) → (265,176)
				(789,287) →	(834,569)
				2 医療等の提供	736,471 → 783,000
				(主な事業)	
				・HIV感染者・エイズ患者の在宅医療・介 護の環境整備事業	40,290 → 40,279
				・中核拠点病院連絡調整員養成事業	12,088 → 12,088
				・HIV診療支援ネットワークシステム運営事業	23,222 → 0
				・HIV診療医師情報網支援事業	13,478 → 13,459
				・地方ブロック拠点病院整備促進事業	180,000 → 218,552
				・血友病患者等治療研究事業	459,916 → 492,996
				3 研究開発の推進	(2,089,633) → (2,027,189)
				(主な事業)	
				・エイズ対策研究の推進(一部推進枠)	(1,135,155) → (1,095,203)
				・外国人研究者招へい等研究推進事業	(193,183) → (193,183)
				・エイズ・結核合併症治療研究事業	(31,277) → (31,277)
				(121,520) →	(124,138)
				4 国際的な連携	2,339 → 8,638
				(主な事業)	
				・エイズ国際協力計画推進検討事業	1,025 → 7,275
				・エイズ国際会議研究者等派遣事業	1,314 → 1,363
				(1,113,366) →	(1,062,127)
				5 人権の尊重・普及啓発及び教育・関係機 関との新たな連携	163,963 → 158,821
				(主な事業)	
				・NGO等への支援事業	134,669 → 132,563
				・「世界エイズデー」啓発普及事業	21,977 → 19,789
				・青少年エイズ対策事業	836 → 835
				6 都道府県等によるエイズ対策促進	113,400 → 113,400
				・エイズ対策促進事業費等補助金	113,400 → 113,400
				7 独立行政法人国立国際医療研究センター 運営費交付金	(189,000) → (189,000)
				・エイズ医療治験研究費	(189,000) → (189,000)

事 項	平成 26 年 度 予 算 額	平成 27 年 度 予 算 (案)	差 引 増 △ 減 額	主 な 内 容	
	千円	千円	千円	千円	千円
Ⅲ ハンセン 病対策	(36,533,008)	(35,935,053)	(△597,955)	≪対前年度比 98.4%≫	
	3,810,916	3,695,019	△ 115,897	≪対前年度比 97.0%≫	
				1 謝罪・名誉回復措置	806,479 → 716,349
				(主な事業)	
				・ハンセン訴訟和解経費	136,190 → 96,219
				・国外ハンセン病療養所入所者等補償経費	200,967 → 104,963
				・中学生を対象としたパンフレット作成	24,375 → 24,375
				・シンポジウム開催・普及啓発資料作成	26,226 → 22,201
				・国立ハンセン病資料館運営経費	348,294 → 351,778
				・再発防止検討調査事業委託費	16,057 → 16,027
				・歴史的建造物の保存等経費	46,734 → 88,829
					(32,846,224) → (32,364,245)
				2 在園保障	124,132 → 124,211
				・国立ハンセン病療養所の運営経費等	(32,722,092) → (32,240,034)
				・私立ハンセン病療養所の運営経費等	124,132 → 124,211
				3 社会復帰・社会生活支援	2,880,305 → 2,854,459
				(主な事業)	
				・国内ハンセン病療養所退所者給与金	2,608,575 → 2,522,787
				・国内ハンセン病療養所非入所者給与金	67,222 → 75,079
				⑨ 特定配偶者等支援金	0 → 52,992
				・療養所入所者家族に対する生活援護	23,606 → 20,805
				・社会復帰者支援事業	68,400 → 68,575

事 項	平成 26 年 度 予 算 額	平成 27 年 度 予 算 (案)	差 引 増 △ 減 額	主 な 内 容	
	千円	千円	千円	千円	千円
Ⅳ リウマチ・アレルギー対策	(596,326)	(600,387)	(4,061)	《対前年度比 100.7%》	
	18,881	24,137	5,256	《対前年度比 127.8%》	
				1 リウマチ・アレルギー疾患に関する正しい情報の提供	13,312 → 18,680
				① 新・アレルギー疾患対策推進協議会経費	0 → 1,325
				② 改・リウマチ・アレルギー対策検討会経費	365 → 2,224
				・アレルギー相談センター事業費	12,947 → 15,131
				2 リウマチ・アレルギー疾患に関する医療の提供	5,569 → 5,457
				・リウマチ・アレルギー特別対策事業費	5,569 → 5,457
				3 リウマチ・アレルギー疾患に関する研究等の推進	(577,445) → (576,250)
				厚生労働科学研究費	
Ⅴ 腎疾患対策	(210,643)	(112,940)	(△97,703)	《対前年度比 53.6%》	
	41,284	12,940	△ 28,344	《対前年度比 31.3%》	
				1 腎疾患に関する正しい情報の提供	3,153 → 3,144
				・腎疾患対策検討会経費	834 → 832
				・腎疾患普及啓発経費	2,319 → 2,312
				2 腎疾患に関する医療の提供	38,131 → 9,796
				・慢性腎臓病(CKD)特別対策事業費	9,822 → 9,796
				・腎疾患重症化予防実践事業	28,309 → 0
				3 腎疾患に関する研究等の推進	(169,359) → (100,000)
				厚生労働科学研究費	
Ⅵ 慢性疼痛対策等	(134,376)	(122,215)	(△12,161)	《対前年度比 91.0%》	
	21,699	9,538	△ 12,161	《対前年度比 44.0%》	
				1 慢性疼痛に関する正しい情報の提供	9,538 → 9,538
				・からだの痛み・相談支援事業	9,538 → 9,538
				2 慢性疼痛に関する研究等の推進	(112,677) → (112,677)
				厚生労働科学研究費	
				・慢性の痛み対策研究(一部推進枠)	(112,677) → (112,677)
				3 慢性疲労症候群重症患者の実態調査	12,161 → 0
				・慢性疲労症候群患者の日常生活困難度調査事業	12,161 → 0
課 計	(114,174,619) 66,577,178	(164,513,870) 117,612,493	(50,339,251) 51,035,315	《対前年度比 144.1%》 《対前年度比 176.7%》	

特定疾患医療受給者証所持者数

疾患番号	疾患名	実施年月日	受給者証所持者数
1	ベーチェット病	昭和47年 4月	19,147
2	多発性硬化症	昭和48年 4月	18,082
3	重症筋無力症	昭和47年 4月	20,691
4	全身性エリテマトーデス	〃	61,528
5	スモン	〃	1,473
6	再生不良性貧血	昭和48年 4月	10,428
7	サルコイドーシス	昭和49年10月	24,487
8	筋萎縮性側索硬化症	〃	9,240
9	強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	〃	49,631
10	特発性血小板減少性紫斑病	〃	24,956
11	結節性動脈周囲炎	昭和50年10月	10,674
12	潰瘍性大腸炎	〃	155,116
13	大動脈炎症候群	〃	6,101
14	ビュルガー病	〃	6,979
15	天疱瘡	〃	5,596
16	脊髄小脳変性症	昭和51年10月	26,250
17	クローン病	〃	38,271
18	難治性肝炎のうち劇症肝炎	〃	253
19	悪性関節リウマチ	昭和52年10月	6,433
20	パーキンソン病関連疾患		126,211
①	進行性核上性麻痺	平成15年10月	
②	大脳皮質基底核変性症	平成15年10月	
③	パーキンソン病	昭和53年10月	
21	アミロイドーシス	昭和54年10月	2,016
22	後縦靱帯骨化症	昭和55年12月	35,070
23	ハンチントン病	昭和56年10月	897
24	モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	昭和57年10月	16,086
25	ウェゲナー肉芽腫症	昭和59年 1月	2,176
26	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	昭和60年 1月	26,556
27	多系統萎縮症		11,956
①	線条体黒質変性症	平成15年10月	
②	オリブ橋小脳萎縮症	昭和51年10月	
③	シャイ・ドレーガー症候群	昭和61年 1月	
28	表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	昭和62年 1月	353
29	膿疱性乾癬	昭和63年 1月	1,938
30	広範脊柱管狭窄症	昭和64年 1月	5,632
31	原発性胆汁性肝硬変	平成 2年 1月	21,013
32	重症急性膵炎	平成 3年 1月	1,730
33	特発性大腿骨頭壊死症	平成 4年 1月	16,035
34	混合性結合組織病	平成 5年 1月	10,539
35	原発性免疫不全症候群	平成 6年 1月	1,458
36	特発性間質性肺炎	平成 7年 1月	7,697
37	網膜色素変性症	平成 8年 1月	27,937
38	プリオン病	平成14年 6月統合	487
①	クロイツフェルト・ヤコブ病	平成 9年 1月	
②	ゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー病	平成14年 6月	
③	致死性家族性不眠症	平成14年 6月	
39	肺動脈性肺高血圧症	平成10年 1月	2,587
40	神経線維腫症	平成10年 5月	3,794
41	亜急性硬化性全脳炎	平成10年12月	88
42	バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	〃	264
43	慢性血栓性肺高血圧症	〃	2,140
44	ライソゾーム病	平成14年 6月統合	967
①	ファブリー病	平成11年 4月	
②	ライソゾーム病	平成13年 5月	
45	副腎白質ジストロフィー	平成12年 4月	195
46	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	平成21年10月	155
47	脊髄性筋萎縮症	平成21年10月	797
48	球脊髄性筋萎縮症	平成21年10月	1,094
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	平成21年10月	4,018
50	肥大型心筋症	平成21年10月	3,616
51	拘束型心筋症	平成21年10月	31
52	ミトコンドリア病	平成21年10月	1,246
53	リンパ管筋腫症(LAM)	平成21年10月	586
54	重症多形滲出性紅斑(急性期)	平成21年10月	68
55	黄色靱帯骨化症	平成21年10月	3,088
56	間脳下垂体機能障害(PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	平成21年10月	19,204
合 計			855,061

平成25年度末現在

※1) 出典:平成25年度衛生行政報告例

※2) 対象疾患は平成21年4月1日現在における対象疾患である。

平成27年1月1日から

「障害者総合支援法」の対象となる 疾病を151に拡大します

平成27年1月1日から「障害福祉サービス等※¹」の対象となる疾病が、130から151へ拡大されます。

対象となる方は、障害者手帳※²をお持ちでなくても、必要と認められた支援が受けられます。

※¹ 障害者・障害児は、障害福祉サービス・相談支援・補装具及び地域生活支援事業（障害児は、障害児通所支援と障害児入所支援も含む）

※² 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳

対象となる方

対象疾病に該当する方（裏面参照）



手続き

- ◆対象疾病に罹患^りしていることがわかる証明書（診断書など）を持参し、お住まいの市区町村の担当窓口にてサービスの利用を申請してください。
- ◆障害支援区分の認定や支給決定などの手続き後、必要と認められたサービスを利用できます。
（訓練系・就労系サービス等は障害支援区分の認定を受ける必要はありません）
- ◆詳しい手続き方法については、お住まいの市区町村の担当窓口にお問い合わせください。

平成27年 1月からの障害者総合支援法の対象疾病一覧（151疾病）

1	IgA腎症
2	亜急性硬化性全脳炎
3	アジソン病
4	アミロイドーシス
5	ウルリッヒ病
6	HTLV-1 関連脊髄症
7	ADH分泌異常症
8	遠位型ミオパチー
9	黄色靱帯骨化症
10	潰瘍性大腸炎
11	下垂体前葉機能低下症
12	加齢性黄斑変性症
13	肝外門脈閉塞症
14	関節リウマチ
15	肝内結石症
16	偽性低アルドステロン症
17	偽性副甲状腺機能低下症
18	球脊髄性筋萎縮症
19	急速進行性糸球体腎炎
20	強皮症
21	巨細胞性動脈炎
22	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症
23	ギラン・バレー症候群
24	筋萎縮性側索硬化症
25	クッシング病
26	クリオピリン関連周期熱症候群
27	グルココルチコイド抵抗症
28	クロウ・深瀬症候群
29	クローン病
30	結節性硬化症
31	結節性多発動脈炎
32	血栓性血小板減少性紫斑病
33	原発性アルドステロン症
34	原発性硬化性胆管炎
35	原発性高脂血症
36	原発性側索硬化症
37	原発性胆汁性肝硬変
38	原発性免疫不全症候群
39	顕微鏡的多発血管炎
40	硬化性萎縮性苔癬
41	好酸球性筋膜炎
42	好酸球性消化管疾患
43	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症
44	後縦靱帯骨化症
45	甲状腺ホルモン不応症
46	拘束型心筋症
47	広範脊柱管狭窄症
48	抗リン脂質抗体症候群
49	コステロ症候群
50	骨髄異形成症候群
51	骨髄線維症

52	ゴナドトロピン分泌亢進症
53	混合性結合組織病
54	再生不良性貧血
55	再発性多発軟骨炎
56	サルコイドーシス
57	シェーグレン症候群
58	CFC症候群
59	色素性乾皮症
60	自己貪食空胞性ミオパチー
61	自己免疫性肝炎
62	自己免疫性溶血性貧血
63	視神経症
64	若年性肺気腫
65	シャルコー・マリー・トゥース病
66	重症筋無力症
67	シュワルツ・ヤンペル症候群
68	神経性過食症
69	神経性食欲不振症
70	神経線維腫症
71	神経有棘赤血球症
72	進行性核上性麻痺
73	進行性骨化性線維形成異常症
74	進行性多巣性白質脳症
75	スティーヴンス・ジョンソン症候群
76	スモン
77	正常圧水頭症
78	成人スチル病
79	成長ホルモン分泌亢進症
80	脊髄空洞症
81	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)
82	脊髄性筋萎縮症
83	全身型若年性特発性関節炎
84	全身性エリテマトーデス
85	先天性QT延長症候群
86	先天性魚鱗癬様紅皮症
87	先天性筋無力症候群
88	先天性副腎低形成症
89	先天性副腎皮質酵素欠損症
90	大脳皮質基底核変性症
91	高安動脈炎
92	多系統萎縮症
93	多発血管炎性肉芽腫症
94	多発性硬化症／視神経脊髄炎
95	多発性嚢胞腎
96	遅発性内リンパ水腫
97	チャージ症候群
98	中毒性表皮壊死症
99	腸管神経節細胞僅少症
100	TSH受容体異常症
101	TSH分泌亢進症

102	TNF受容体関連周期性症候群
103	天疱瘡
104	特発性拡張型心筋症
105	特発性間質性肺炎
106	特発性基底核石灰化症
107	特発性血小板減少性紫斑病
108	特発性血栓症
109	特発性大腿骨頭壊死症
110	特発性門脈圧亢進症
111	特発性両側性感音難聴
112	突発性難聴
113	難治性ネフローゼ症候群
114	膿疱性乾癬
115	嚢胞性線維症
116	パーキンソン病
117	バージャー病
118	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症
119	肺動脈性肺高血圧症
120	肺胞低換気症候群
121	バッド・キアリ症候群
122	ハンチントン病
123	汎発性特発性骨増殖症
124	肥大型心筋症
125	ビタミンD依存症二型
126	非典型溶血性尿毒症症候群
127	皮膚筋炎／多発性筋炎
128	びまん性汎細気管支炎
129	肥満低換気症候群
130	表皮水疱症
131	フィッシャー症候群
132	封入体筋炎
133	ブラウ症候群
134	プリオン病
135	PRL分泌亢進症（高プロラクチン血症）
136	ベスレムミオパチー
137	ベーチェット病
138	ペルオキシソーム病
139	発作性夜間ヘモグロビン尿症
140	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー
141	慢性血栓塞栓性肺高血圧症
142	慢性脾炎
143	慢性特発性偽性腸閉塞症
144	ミトコンドリア病
145	メニエール病
146	網膜色素変性症
147	もやもや病
148	ライソゾーム病
149	ランゲルハンス細胞組織球症
150	リンパ脈管筋腫症
151	ルビンシュタイン・テイビ症候群

5 新たに対象となる疾病
7 対象に変更はないが疾病名が変更されたもの

「劇症肝炎」「重症急性脾炎」については平成27年1月以降は対象外ですが、すでに障害福祉サービスの支給決定を受けている方は引き続き利用可能です。詳細は、お住まいの市区町村窓口にお問い合わせください。